

佳作

じいちゃん、ありがとう

「おかえり。きょうもがんばったなあ。」

学校からかえると、じいちゃんがほくをむかえてくれます。そんなじいちゃんのにこにこわらった顔を見ると、ほくはほつとします。

ほくのじいちゃんは、八十二さい。でも、とつても元気です。ごはんをいっぱい食べていつも大きなこえでわらっています。

ほくは、おかあさんのしごこのかんけいでまい日じいちゃんのをいえへかえます。よるまで、じいちゃんといっしょにしゅくだいをしたり、ボールであそんだりします。じいちゃん小学生のころ、けいさんがとくいだっただけです。ほくにも「ちようめんかしてみろ。じいちゃんがよく教えてあげるぞ。」

といって、たしごんをなんかいも教えてくれました。テストで百点をとってじいちゃんにみせると、すごいなあと大きな手で頭をくしゃくしゃになでてくれます。

夕ごはんをつくるのも、じいちゃんのでばんです。とくいなよりりはカレーで、おかあさんのカレーより、あまくておいしいです。

「じいちゃんのカレーは、さいこうだね。」

というと、ほくのおにいちゃんが小さいころからつくっていたのでじょうずになったんだよと教えてくれました。ずっとカレーをつくっているなんて、じいちゃんの手はまほうの手

栃木県

真岡市立久下田小学校二年

大野 泰雅

で、コックさんみたいですごいなあと思います。

いつも元気なじいちゃんだけど、しんばいなこともあります。それはじいちゃんの体のことです。きよ年の夏、頭とくびのけつかんが細くなって入いんしました。

ほくは、じいちゃんのぐあいがわるくなったのは自分のせいだと思いました。ほくがふざけてじいちゃんのせなかののったり、ボールあそびで、いっぱいはしらせてしまったりしたからです。

ほくはこころの中でずっと、(じいちゃんごめんね。もうむちやをいわないから。かみさま、せつたいじいちゃんを元気にしてね。)と思っています。ドキドキしながらおみまいにいきました。びようしつに入るとき、ほくはゆう気を出して「ごめんなさい。だから元気になって。」

とあやまりました。するとじいちゃんはびつくりしたあと大わらいして

「たいがといるから、元気になれるんだよ。」

と、あく手をしてくれました。じいちゃんの手は、いつもとおなじで大きくてあつたかくて、ほつとしたことをおほえています。

大すきなじいちゃん、いつもほくのためになんでもがんばってくれてありがとう。いつも、元気をいっぱいくれてありがとう。元気なじいちゃんが、これからもずっと元気でいられるように、今どはお手つたいをがんばるよ。大きくなってじいちゃんへおんがえしができるまで、ずっとずっと長生きしてね。